

各 位



平成 27 年 1 月 30 日

会 社 名 株 式 会 社 ワ コ ム
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 山 田 正 彦
(コード番号:6727 東証第一部)
問 合 せ 先 取 締 役 兼 執 行 役 員 財 務 本 部 長
長 谷 川 渉
(TEL 0120-056-665)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 26 年 7 月 30 日付決算短信の「平成 27 年 3 月期の連結業績予想(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)」の通期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 27 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 78,700	百万円 5,500	百万円 5,540	百万円 3,700	円 銭 22.23
今回修正予想(B)	78,700	6,200	5,900	3,480	20.90
増減額(B-A)	0	700	360	△220	
増減率(%) (B対A)	0.0	12.7	6.5	△5.9	
前期(平成 26 年 3 月期) 実績(C)	78,615	8,663	8,282	5,249	31.31
増減率(%) (B対C)	0.1	△28.4	△28.8	△33.7	

2. 修正の理由

売上高は、前回発表予想の通りに推移しております。営業利益は、売上原価の低減、販売費および一般管理費の削減などにより、前回発表予想より7億円の改善を見込んでおります。当期は、グローバルサプライチェーンシステムの再構築、グローバルHR(人事)プロジェクト、WILL(Wacom Ink Layer Language)プロジェクトなどの関連費用が発生することから、例年に増してコスト管理を強化しております。一方で、当期純利益は、第3四半期に実行した社宅の売却に伴う固定資産売却損の計上などにより、前回発表予想よりも2億2千万円下がる見込みです。

ブランド製品事業においては、同事業売上の約半分を占めるクリエイティブビジネスのペンタブレット製品が、クリスマス商戦キャンペーンで奏功するなど、下期に入って回復の兆しを見せております。円安の追い風もあり、ブランド製品事業全体の売上高は前回発表予想を上回る見込みです。

コンポーネント事業においては、スマートフォン向けの需要が大幅に落ち込むと見ておりましたが、下期に入って出荷が本格化していることから、落ち込み幅は想定よりも少ないと見込んでおります。一方でタブレット向けの需要は、回復が想定以上に遅れ、当期中の回復は見込めない状況にあります。コンポーネント事業全

体としては、引き続き円安の恩恵を受けるものの、売上は前回発表予想よりも低く推移する見込みです。

3. その他

最近の為替レートの推移状況に鑑み、平均為替レートを、ドルについては平成27年2月1日以降1ドル100円から110円に変更することといたしました。ユーロについては1ユーロ135円の予想のままとしております。(なお、平成27年1月の為替レートは平成26年12月末TTMレートの1ドル120.55円、1ユーロ146.54円を使用しております。)

なお、平成26年4月30日に公表しました当期の配当予想1株当たり18.0円に変更はありません。

(注)上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上